



JPX

PRIME
TOKYO

コード番号:6369



トヨカセイ 株式会社

会社説明会

2023年7月22日

1. 現在の姿

会社概要と株主還元などについて

2. これまでの姿

実績と事業紹介について

3. これからの姿

中長期の展望について

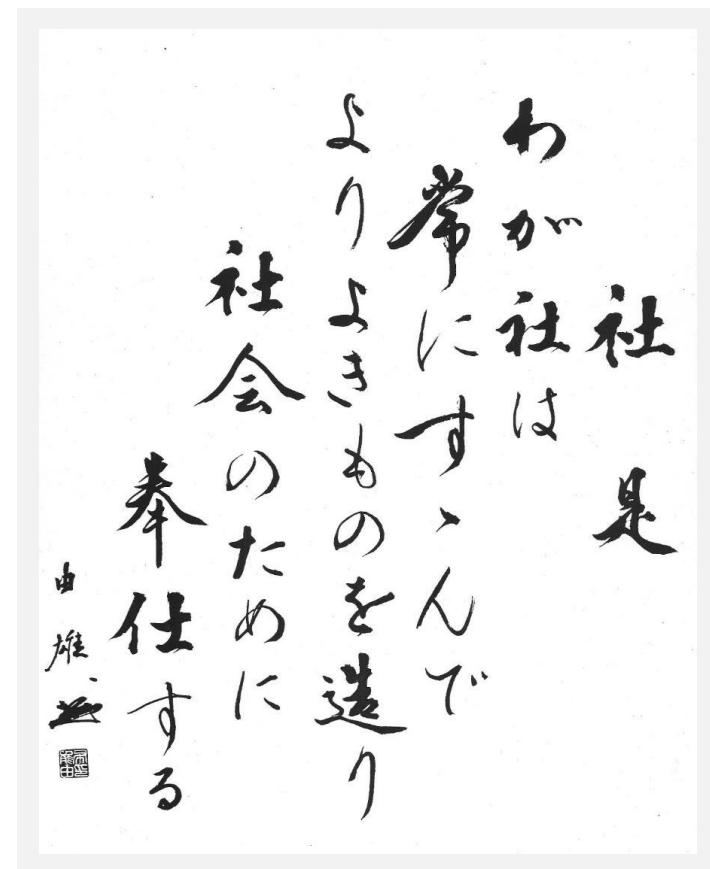
代表取締役社長 **大和田 能史**
(おおわだ たかし)



1. 現在の姿

創立82周年 東京証券取引所上場62周年

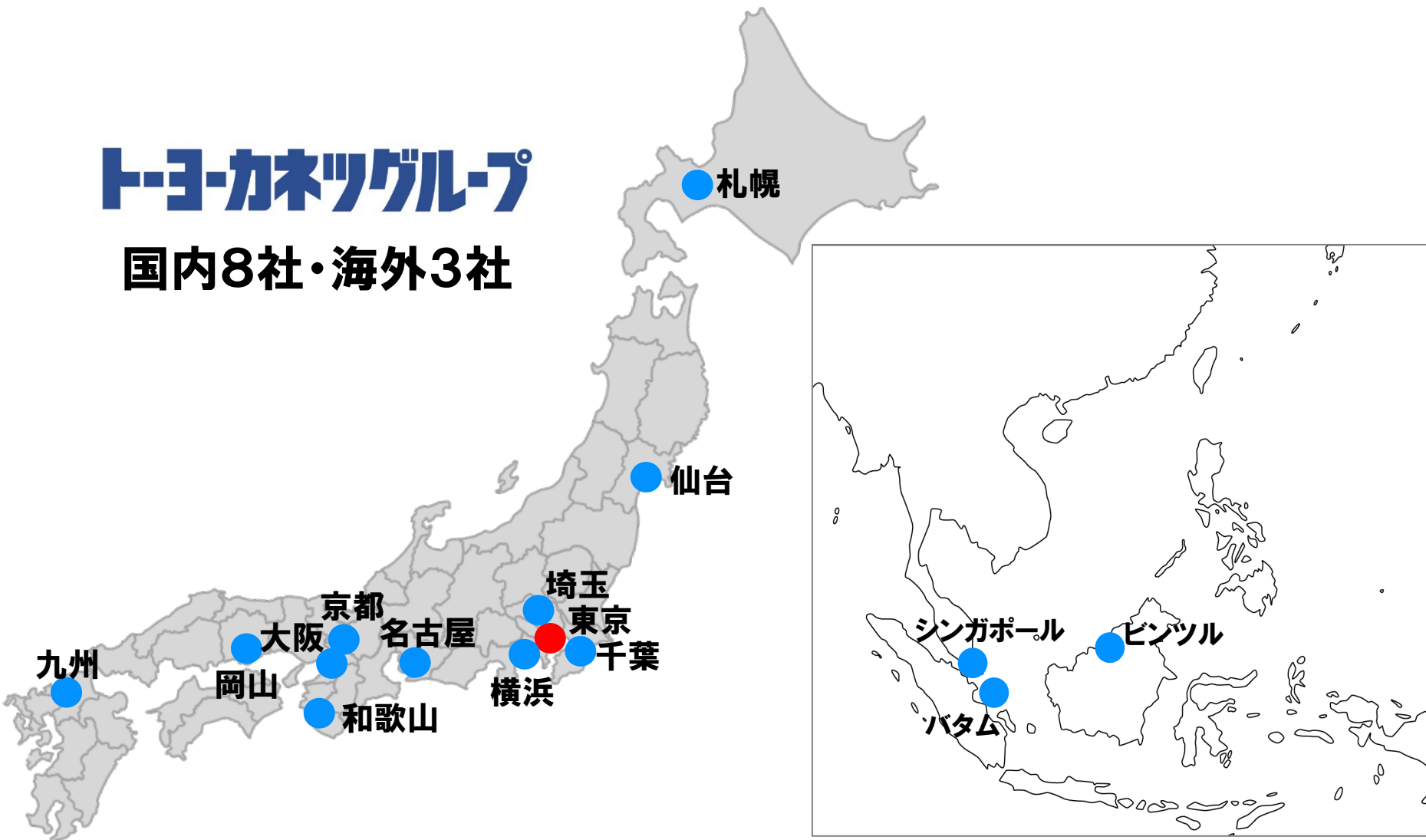
- 創立 1941年(昭和16年)5月
- 資本金 18,580百万円
- 売上高 47,351百万円(連結)
- 従業員数 582名(単体)
1,143名(連結)
- 株式市場 東証プライム
- 決算期 3月(連結)



トヨカネツグループの国内外ネットワーク

トヨカネツグループ

国内8社・海外3社



主力事業の紹介

物流システム



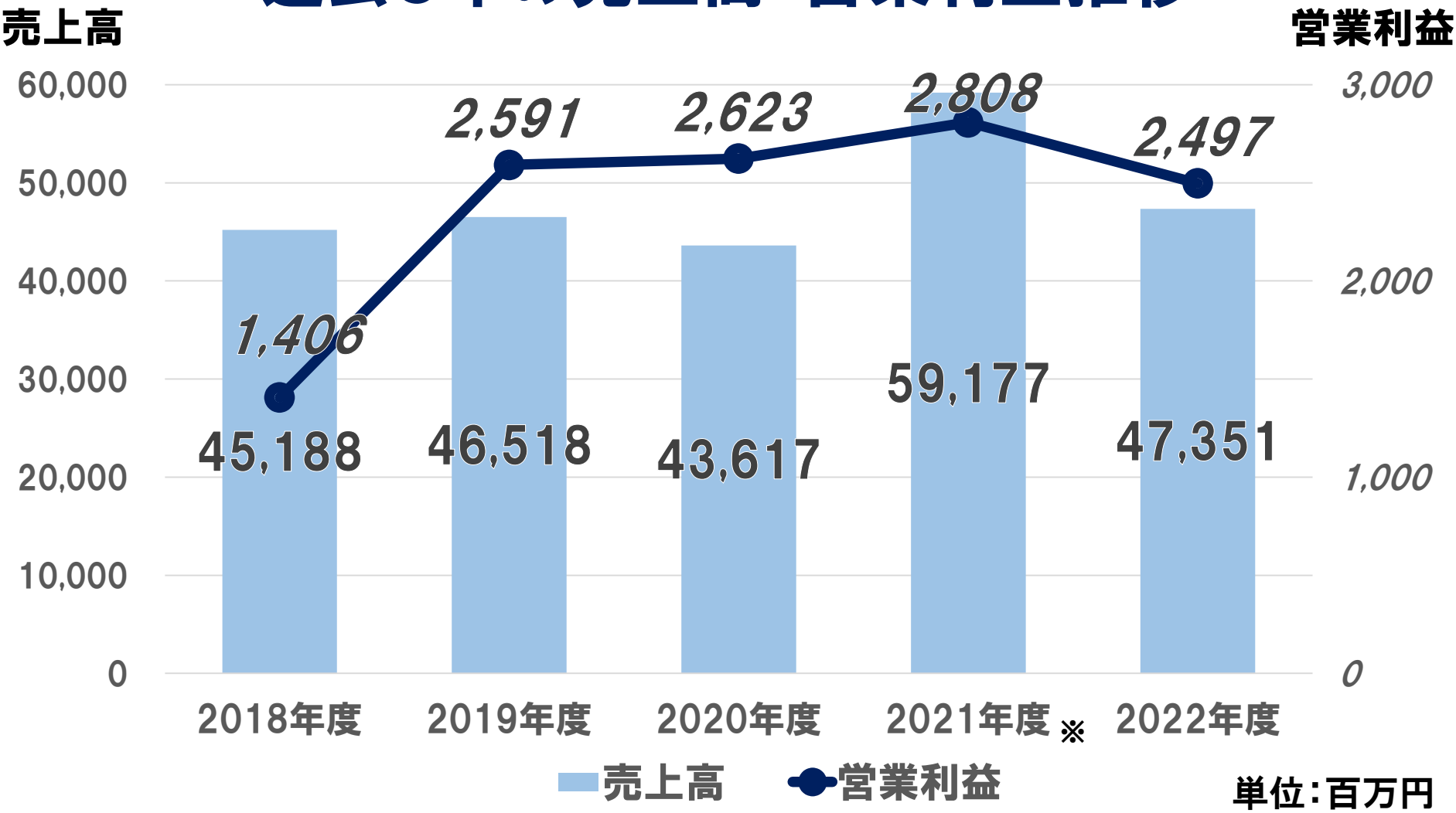
**物流システムの企画
設計、製作、施工、販売
メンテナンス**

タンク建設



**大型タンクのEPC
(設計・調達・建設)
メンテナンス**

過去5年の売上高・営業利益推移

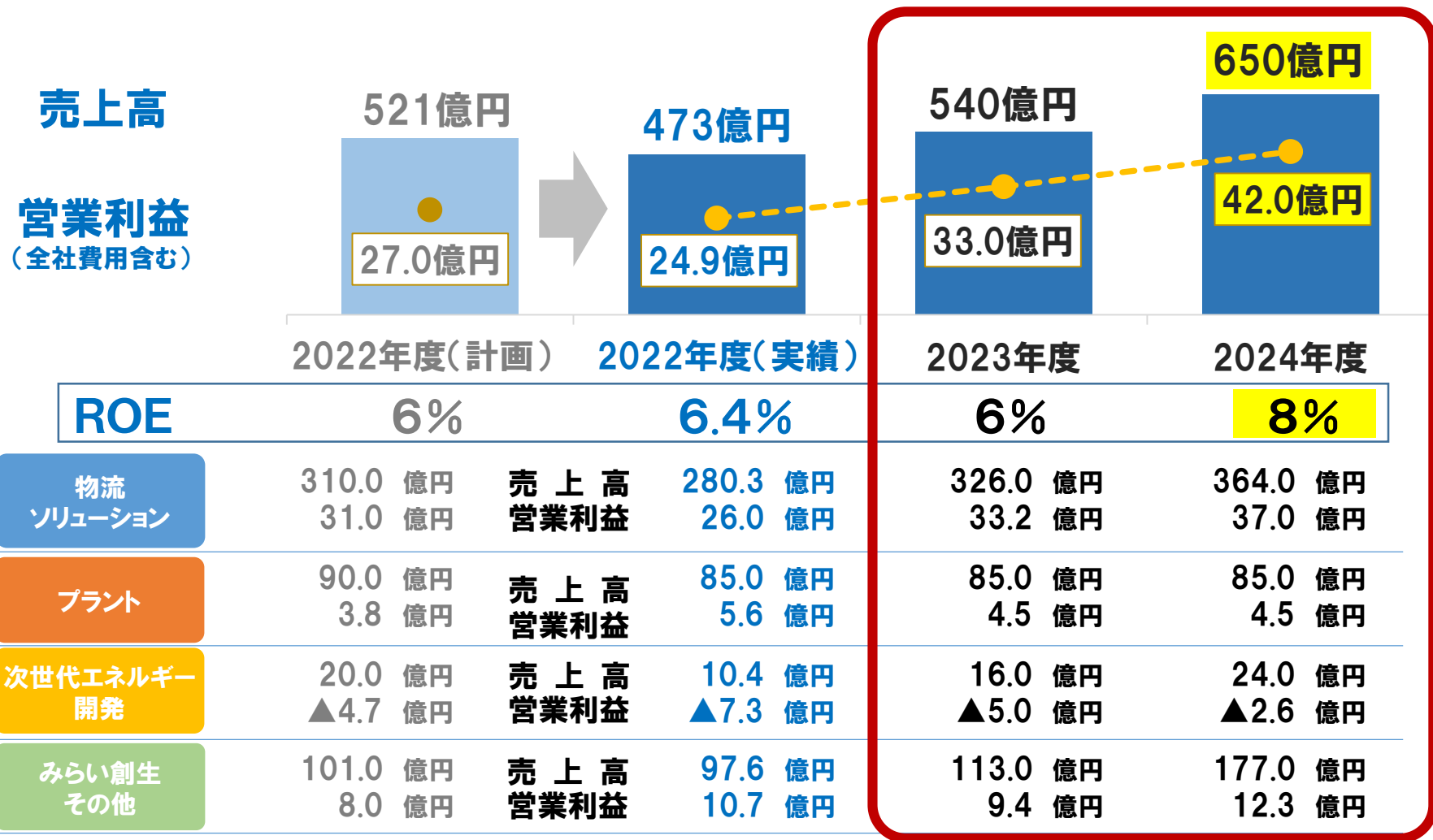


※2021年度は、収益認識に関する会計基準適用の為、売上高及び売上原価が3,290百万円加算されております。

数値目標

今期(2023年度)は、増収・増益の見通し

中計最終年度 売上高650億円 営業利益42億円 ROE8%



成長・研究開発・人材への各投資を積極的に実施

2022～2024年度(3ヵ年)累計

営業CF
約100億円

(参考)
減価償却費
約30億円

必要に応じた
資金調達

配当金
30億円以上

成長投資
研究開発
100億円規模

定常設備投資

ワーキングキャピタル

- 配当性向50%以上
(2023年6月配当12億円)
- 成長投資
 - ・ M&A、出資 など
- 研究開発
 - ・ 物流ソリューション製品開発
 - ・ 大型液化水素タンク研究 など
- 設備投資
 - ・ 和歌山工場(BCP及び生産活動高度化)

●資本政策の基本方針

- 価値向上の為、内部留保及び借入を成長投資に活用
- 自己資本比率50%以上を維持し、財務健全性確保

●株主還元方針

- **連結配当性向:50%以上**（配当下限額:年間100円/株）

ただし、大規模な資金需要が発生した場合にはこの限りではありません。

連結総還元性向は設定しないものの、業績動向などにより機動的に対応することとします。

- **適用期間:2023年3月期～2025年3月期**

	2020年3月期	2021年3月期※	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予想)
1株当たり 年間配当金	100円	115円	145円	147円	150円
連結配当性向	51.1%	54.1%	50.8%	50.1%	50.5%

※2021年3月期の期末配当の内訳:普通配当110円、創立80周年記念配当5円

● 前期の主な対応結果

- 株主総利回り(TSR): 105.4%
- 自己株式の取得: 普通株式11.06万株・299百万円
- 政策保有株式の売却: 1,544百万円
(連結純資産比19.2%・2023年3月末時点)

● 今期の結果・予定

- 自己株式の取得: 普通株式35.30万株・1,199百万円
- 政策保有株式の売却: 適宜推進
- 市場対話施策の実施: 施策拡充
 - ・ 決算説明会
 - ・ 個人投資家向け会社説明会
 - ・ 機関投資家1on1ミーティング 等

2. これまでの姿

物流システムとタンク建設で国内・海外に実績多数

ボイラー製造から始まり1955年に
2事業に経営資源を集約





「生協」

物流センターシステム
シェア70%以上



「国内空港」

自動手荷物預けシステム
シェア80%以上



「Eコマース」

多品種 大量仕分け
リードタイムの短縮



「3PL」


高機能 高性能マテハン
省人化の実現




「世界第2位」
国内外納入実績
5,700基以上



「極低温貯蔵」
液化LNG
マイナス162℃

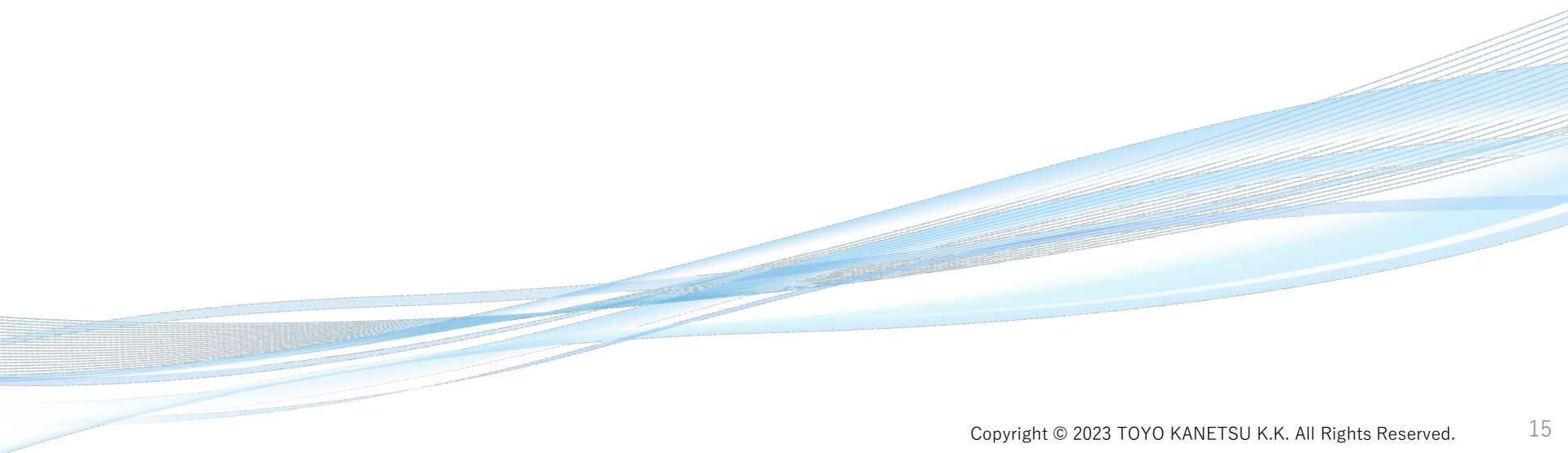


「大型タンク」
各種形状
23万キロリットル



「次世代エネルギー」
アンモニア・CO₂
大型液化水素タンク

3. これからの姿



中期経営計画(2022~2024年度)を推進中

経営ビジョン

革新的な技術と実行力で、
社会課題を解決する
「ソリューションイノベーター」

スローガン

ACTION FOR THE FUTURE
期待を超える実行力で、未来を支えるチカラになる

物流ソリューション

ACTION FOR
NEXT LOGISTICS

プラント

ACTION FOR
INFRASTRUCTURE

次世代エネルギー開発

ACTION FOR
NEXT ENERGY

みらい創生

ACTION FOR
SUSTAINABILITY

中期基本方針

未来に向けた成長路線を確立する

重要な経営課題を掲げ、未来の社会と共生する

10のマテリアリティ(重要な経営課題)と対応するSDGs目標

事業を通して解決し 価値向上を目指す課題

1. 気候変動による事業
環境変化への対応
2. 国内人口減少への
対応

持続的な企業価値向上 のために取り組む課題

3. 人材の育成と活用
4. 新技術の開発と活用
5. パートナー企業との
協業推進
6. 生産性の向上

これらの 前提となる課題

7. 安全衛生の確保
8. コンプライアンス・
ガバナンスの堅持
9. リスクマネジメントの
高度化
10. 積極的なチャレンジ
やスピード感がある
企業風土への改革



TCFDへ賛同し、カーボンニュートラルを推進中

カーボンニュートラル宣言

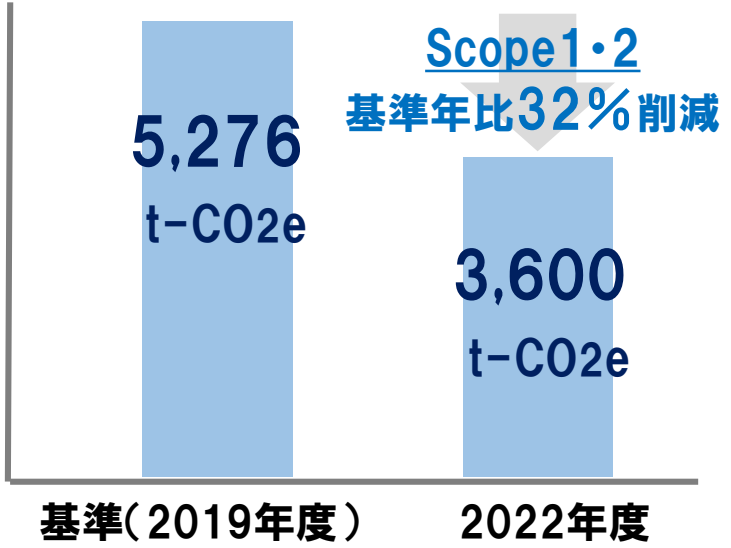
「2050年までにカーボンニュートラルを達成」

「2030年までに2019年度対比で50%に削減」

※削減対象GHG(温室効果ガス):当社単体及び国内外連結子会社における
「Scope1排出量+Scope2排出量」

環境に関する取組み

- TCFDへの賛同
- 専門組織(環境グループ)の新設
- 環境系イニシアティブへの参加



トヨカネツが展開する4つの事業セグメント

物流システム

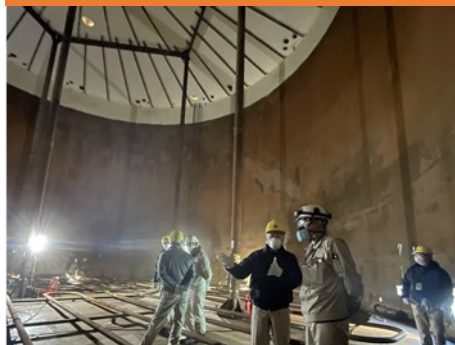
物流ソリューション 事業



生協・空港・EC
メーカーなどの
物流システム

タンク

プラント 事業



国内製油所などの
タンク
メンテナンス

次世代エネルギー 開発事業



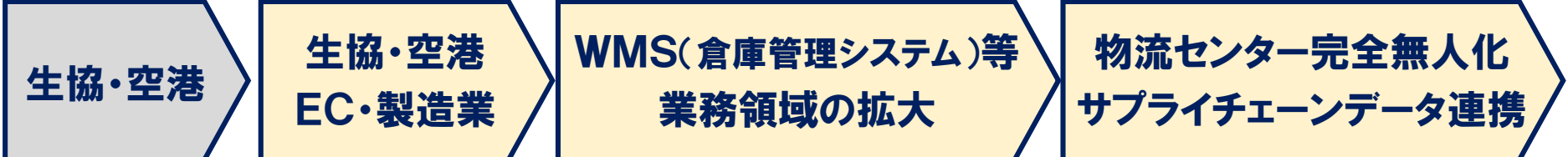
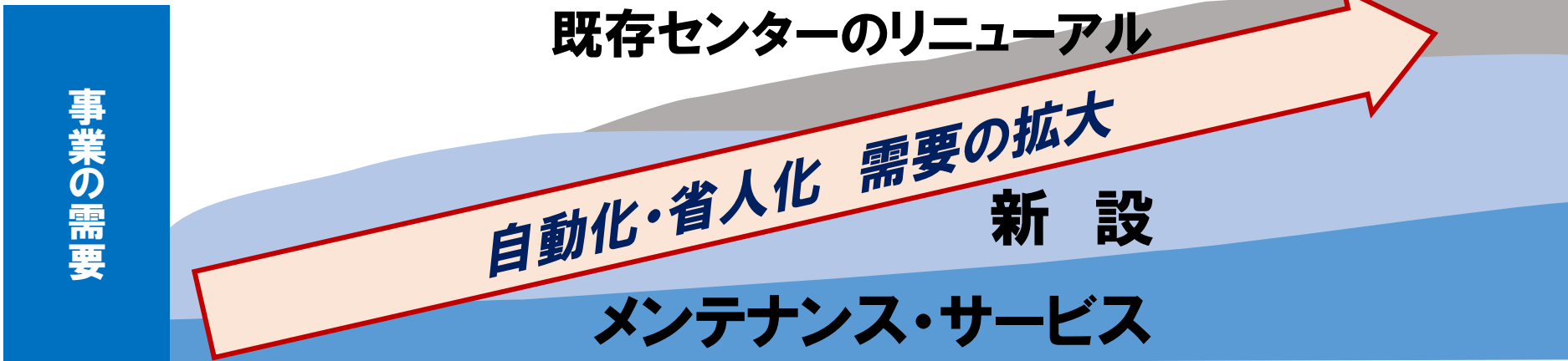
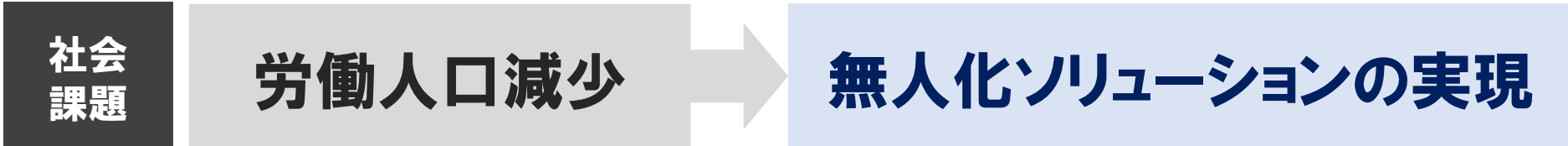
LNG、アンモニア
CO₂、水素など
タンク建設・研究

新規開発

みらい創生 事業



アスベスト検査、
環境計測機器保守、
産業機械・建築



※出典：総務省「生産年齢人口（15-64才）推計」

社会課題

カーボン
ニュートラル

クリーンエネルギー社会
の実現

脱炭素



エネルギーの出現

2013年 2023年 2030年 2050年

エネルギーの変化に次々と対応

石油・LNGなど アンモニア・MCH (メチルシクロヘキサン): 水素キャリアのひとつ。
CO₂タンク 水素タンク

タンクメンテナンス

既存タンクのメンテナンス

アンモニア・MCH
CO₂(CCS/CCUS)

開発

受注

建設

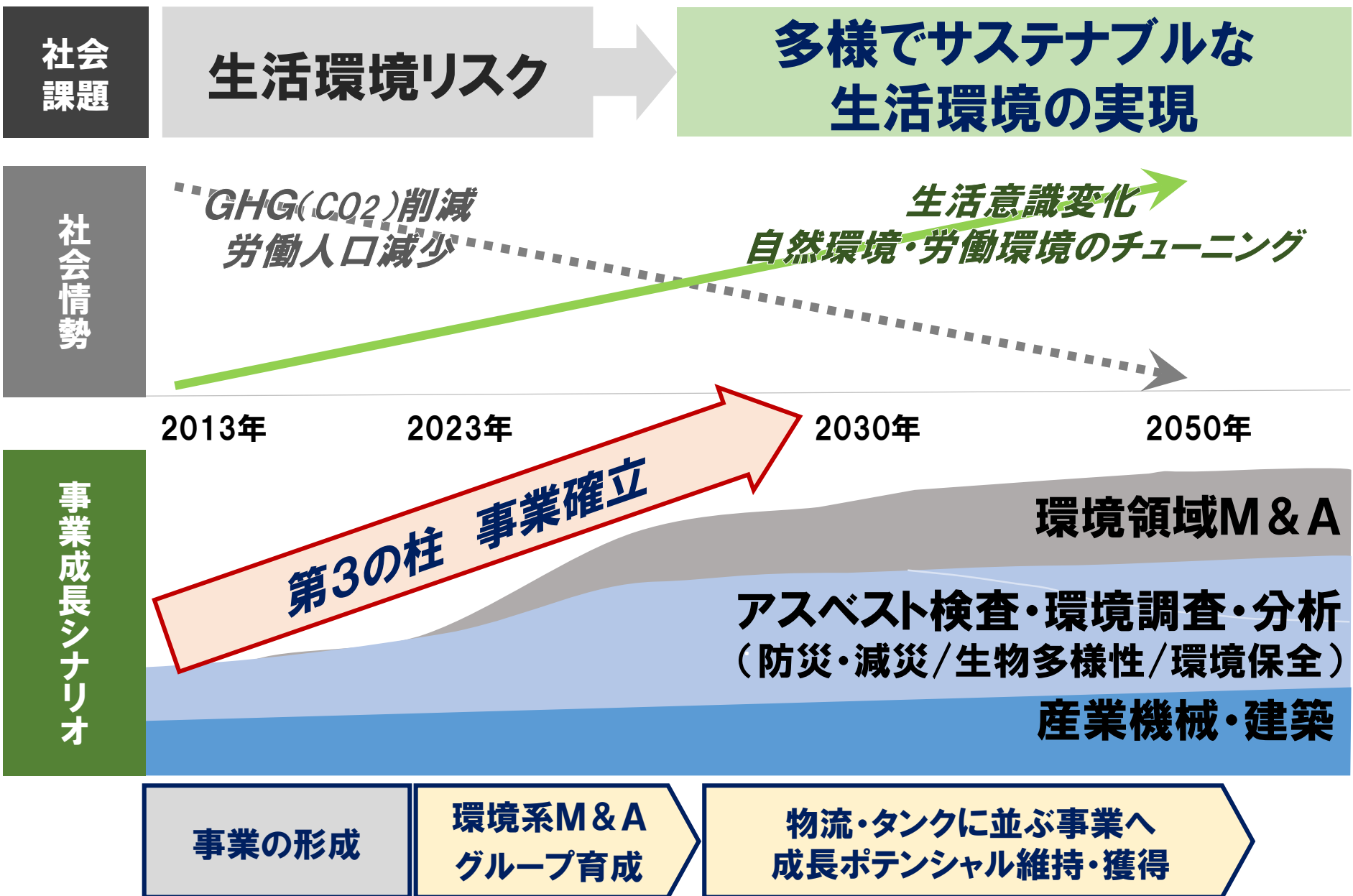
大型液化水素

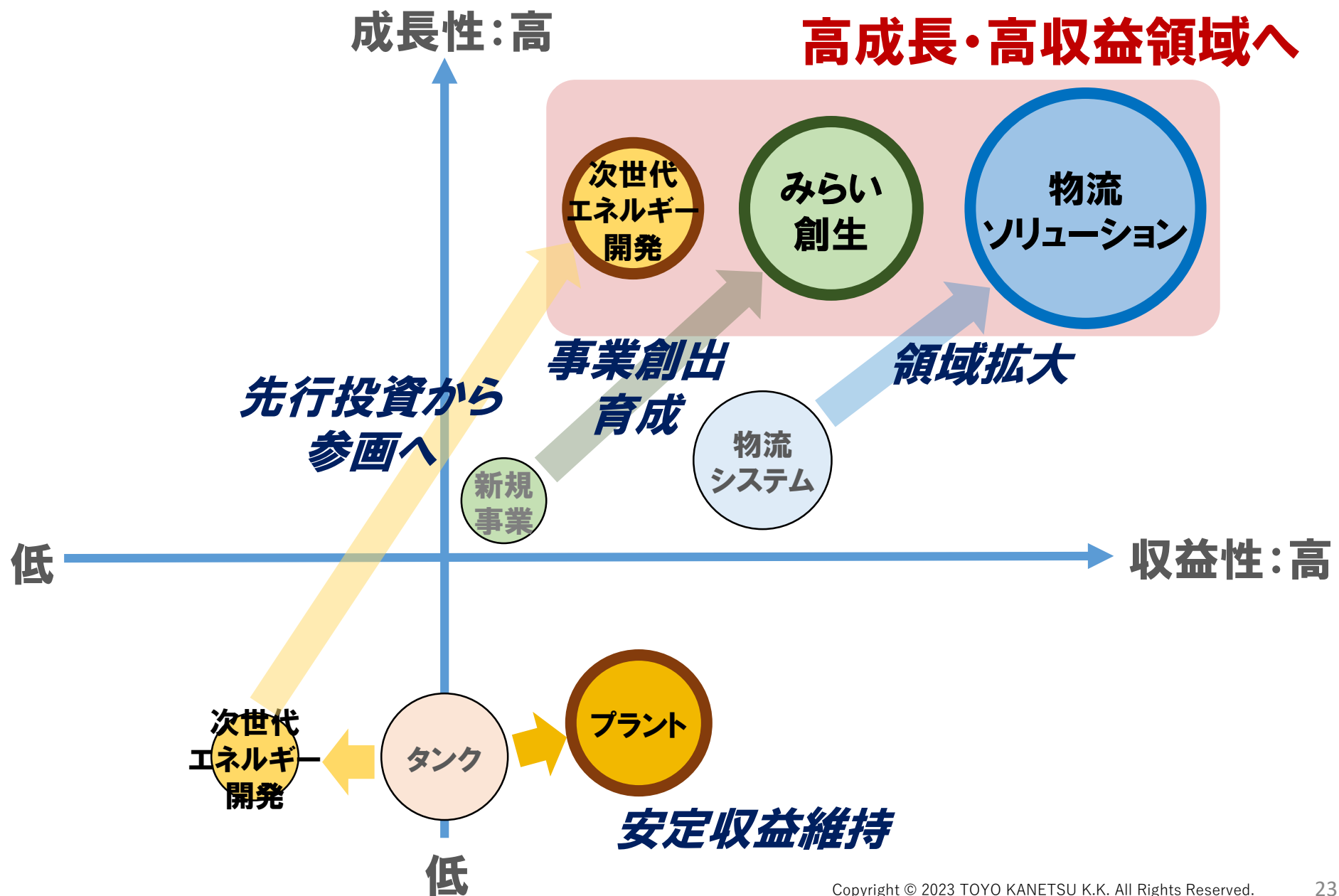
基礎技術

実証実験

建設

みらい創生事業の展望





トヨカネツの“ACTION”を応援ください



PLANT
プラント事業

LOGISTICS SOLUTIONS
物流ソリューション事業

NEXT-GENERATION ENERGY DEVELOPMENT
次世代エネルギー開発事業

ACTION FOR THE FUTURE

期待を超える実行力で、未来を支えるチカラになる

BUSINESS INNOVATION
みらい創生事業

当資料に関するお問い合わせ先



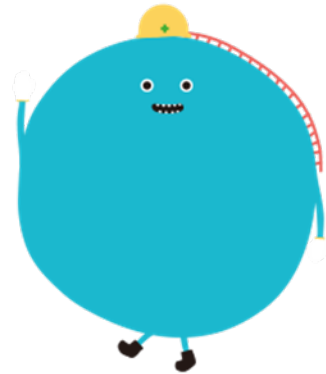
トヨカネツ株式会社

コーポレート本部 経営企画部

TEL:03-5857-3333 FAX:03-5857-3170

<https://www.toyokanetsu.co.jp/>

コード番号:6369 東証プライム



注意事項

本資料に記載されている計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、種々の前提に基づき策定したものであり、将来の業績等を保証するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。